



佐野ケーブルテレビの人気番組「かずさんぽ」

「かずさん」こと高橋和也さん。番組では撮影役のディレクターと二人三脚で街歩きをし、市内の各町会を紹介しています。10月の放送では、ついに通算100町会目を迎えました。

「佐野の方は恥づかしがり屋だけど、みんな優しい。地元の人しか知らないような歴史の話聞かせてくれたりもします」と話すかずさん。車では素通りしてしまうような場所でも、歩いて通るからこそ気付きや出会いがあるのだからか。

そんなかずさん自身、意外なことに人見知りだそうです。「かずさんぽの時は、ぐいぐいコミュニケーションを取れてしまってますよね」と照れくさそうに話してくれました。

普段は番組制作を担当する、いち社員でありながら、ある時はタレントと勘違いされてサインを求められることも。最近では若い世代からも声をかけられることが増え、認知度が上がったことを嬉しく感じるそうです。

「ニュース番組のキャスターも務めていますが、事前に内容が決まっている台本

町会を紹介する人気番組「かずさんぽ」

キラリ話題の人

かずや 高橋 和也さん

- ・佐野ケーブルテレビ株式会社勤務
- ・出演番組「かずさんぽ」「きのニュース」
- ・その他イベントなどの取材



▲「新春ゴルフ対決」の放送は元旦から5日まで

を読むことが実は苦手。かずさんぽは、アポなしで出会った町の人との自由な会話を楽しめる、ゆるさが売りの番組です。から」と笑います。大きく「かずさんぽ」と書きされた定番衣装も、インタビューされる方との距離を縮めることに一役買っているのでは。

お正月には、趣味であるゴルフの腕を生かして芸人のテルさんとゴルフ対決をする新春特番が放送されます。「佐野出身の新人プロゴルファー塚原悠斗さんをゲストに迎えての新春特番なので、楽しみにしてください！」と宣伝も忘れずに。

番組としての目標は「市内の167町会を全て回ること」

新しい出会いと発見を探しに、これからもかずさんぽは続きます。

(市民記者 小林春美)



▲これが噂の手書き「かずさんぽ」の衣装



▲佐野ケーブルテレビ公式LINE

ようこそ 市長室からこんにちは!

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年3月には、「天明鑄物」が生産用具及び製品が国重要有形民俗文化財に指定され、一昨年の「天明鑄物」の地域団体商標登録に続き、2年連続の嬉しいニュースとなりました。

今年も本市にとって、良い年となるようしっかりと市政運営を行ってまいります。

市民の皆さまにとって脅威となっているさまざまなものの物価高騰については、市民生活や事業活動への影響を最小限に抑えるため、国や県と連携しながら対策を進めてまいります。

また、旺盛な立地意欲に応えるため、国道50号沿線における新たな産業団地の造成や地域未来投資促進法を活用した企業誘致と企業立地などへの支援にスピード感をもって

取り組んでまいります。

そして、本市の特色でもあるクリケットの国際的な大会を好機と捉え、商工団体と連携し、経済交流につなげるとともに、ファンガレイ市への中学生派遣などをとおして、国際的視野を持つ人材育成に取り組みます。

その他、有識者の英知を集め国際戦略を策定し、国際防災拠点さの推進など、国際社会の一員として取り組んでまいります。

また、防災体制の充実強化を図るため、新たな災害協定の締結や、更なる改善に向けた協定見直しも図ってまいります。

今年も、人とのつながりを大切にしながら、「進化する佐野市、選ばれる佐野市」を目指し、さまざまな取り組みを推進してまいりますので、1年間市民の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



佐野市長 金子 裕



市民に愛され続けて
葛生図書館創立100周年

大正11年7月9日、葛生小学校の応接室に蔵書360冊程の「私立葛生図書館」が、栃木県下で3番目の図書館として開館。

大正13年、昭和天皇ご成婚記念に、葛生小学校敷地内に図書館を建設。石造2階建洋館で蔵書約3,000冊、閲覧席30席、当時の建築費は4,398円でした。

その後2度移転、平成17年1市2町の合併により現在の「佐野市立葛生図書館」となりました。

今年度創立100周年を迎え、図書館ツアー、落語会など記念事業が行われ、100年のあゆみ展、葛生ゆかりの方々のおすすめ本を紹介した「葛生～わたしの1冊～」の展示もあり、書架の間には、図書館への思い出やコメントを来館者が書いた「創立100周年メッセージ」の付箋が貼られ、市民から愛されている図書館への熱い思いが伝わってきます。

佐野市立図書館、田沼図書館、葛生図書館、移動図書館「ひまわり号」に加え、新しいサービスとして昨年「佐野市電子図書館」がスタート。インターネット上の図書館で、パソコン、スマートフォンなどを使って、24時間いつでもどこでも電子書籍が楽しめます。

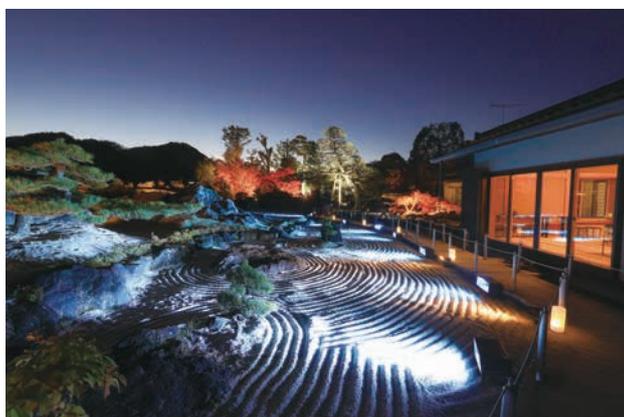
まずは利用者カードの登録に、図書館に行ってみませんか。

(市民記者 永倉文子)

①葛生図書館落成式(大正13年)

②創立100周年メッセージ

③現在の佐野市立葛生図書館



昼間とは違った幻想的な世界
さのあかり ～彩る水面と日本庭園～

今年も「夜の佐野市観光」として観光スポットライトアップ「さのあかり」を開催しました。

11月16日(土)～24日(日)は出流原弁天池・磯山弁財天にて、11月30日(土)、12月1日(日)・7日(土)・8日(日)には、新たに人間国宝田村耕一美術館にて、夜間ライトアップを行いました。

人間国宝田村耕一美術館では、日本庭園や紅葉した木々、池が幻想的にライトアップ。抹茶体験や天明鍔物の展示なども行われ、訪れた方たちは昼間とは違った風景を楽しんでいる様子でした。



今年はハーフマラソンの部が追加!
さのマラソン大会

12月8日(日)、清酒開華スタジアム周辺にて、さのマラソン大会が開催されました。

今年は、5キロ、2キロに加えハーフマラソンの部が追加されました。また、親子ジョギングの部は「ペアラン」に名称が変わり、小学1～3年生と18歳以上の保護者が一緒にマラソンを楽しみました。

今大会も全国各地から多くのランナーの方にご参加いただき、会場には佐野市のご当地グルメブースなどもあり、市外の参加者や応援に来た方にも楽しんでいただけるスポーツイベントとなりました。